

5) 中城湾港（西原与那原地区）緑地（Ⅱ）サービス棟新築工事

所在地：西原町東崎地先
工期：H17. 12. 27～H18. 8. 15
構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
延床面積：1,691m²
総工事費：1,748千円



当施設は、西原マリンパークの基幹施設として建設され、管理部門、物販、飲食部門、トイレ、シャワー室、休憩所により構成される。

周囲をオープンにし、トップライトを設けるなど、明るく開放的な施設をめざして建設された。



6) 奥武山公園トイレ等新築工事

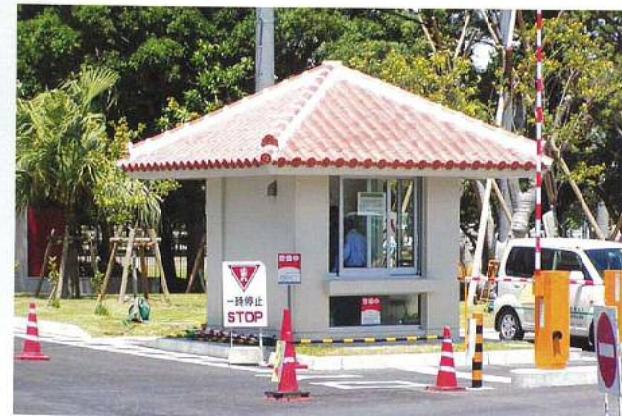
所在地：那霸市奥武山
工期：H18. 9. 8～H19. 2. 4
構造：鉄筋コンクリート造
延床面積：55.38m²
総工事費：28,139千円



【トイレ】

当施設は、奥武山公園のエントランス広場の一角に位置する公園利用者のためのトイレと管理施設のガードマンボックスで、赤瓦をのせた切妻屋根やバーゴラ等により公園内の景観に配慮した。

また、花形ブロックや通風口による自然採光、自然換気、床の段差解消や多目的トイレの設置など、防犯や省エネ、ユニバーサルデザインに配慮した。



【ガードマンボックス】

住宅課

7) 県営浜川団地

所在地：糸満市兼城
工期：平成16年から平成20年度
構造：鉄筋コンクリート造、10～12階建
敷地面積：約17,500m²
延べ面積：約20,276m²



昭和49年度に建設された県営浜川団地は、建築・設備等の老朽化による危険度の解消のため、平成16年度より建替工事に着手した。
建替後は、10階から12階建ての高層住宅となり、居住水準の向上、高齢社会への対応を図る。
建替工事は2期に渡って行われ、1期工事は平成18年度で120戸が完成、2期工事は平成18年度末に100戸の建設に着手し、20年度に事業完了予定である。



住宅課

8) 県営登野城団地建替工事（第1期）

現在の登野城団地は築30年以上が経過し、建物の老朽化や都市環境の変化に伴い建替工事を行った。建替団地については、住民が安全で快適に過ごす事ができる様に以下の点に配慮している。

1. 都市・生活環境の変化に対応し、高齢者や障害者に対しバリアフリーな団地の形成
2. 団地内の死角の排除や、ピッキング対策等の防災・防犯に強い団地の形成
3. プライバシーや日照及び通風を確保するため住棟間隔の確保
4. 石垣島独特の景観に配慮し、建物高さを抑え屋根に瓦を採用
5. 集会所を中央に配置し、広場と一体で利用で団地内に世代間のコミュニティ形成を図る

また、本団地では世帯構成の変化に対応するため、住民からの意見を取り入れ、「住戸プラン」に変化をつけることで2DK～3LDK（車イス対応住戸含）の型別供給を行っている。

- 1期工事（63戸）は、解体工事及び集会所を含め平成18年度11月に完成
2期工事（104戸）は平成19年度に着工予定

施設概要

所在地：石垣市

建設工事：平成18年3月～平成18年11月（第1期）

構造・階数：RC造 地上5階

敷地面積：19,911.60m²

延床面積：1期 4,846.52m² 集会所含む

総工事費：316,448千円

住戸タイプ	2DK	2LDK	3LDK
対象戸数	5戸	19戸	37戸
車イス対応住戸	1戸	1戸	合計 63戸
2期 7,441.28 m ² 19年度着工（完成）予定			



9) 豊見城団地県改良住宅

沖縄県と豊見城市を事業主体とした豊見城団地住宅地区改良事業では、沖縄県住宅供給公社により昭和44年から昭和51年にかけて建設された豊見城団地を、施設の劣化・老朽化に伴い建替えを行います。平成16年より解体を始め、平成22年までに、沖縄県が5棟・428戸、豊見城市が7棟・513戸の建設を行う予定です。

建設のテーマとして人に優しい住環境つくりと現在のコミュニティの維持・発展を目指しています。

施設概要

所在地：豊見城市字平良

建設工事：平成18年3月～平成19年12月（第2期）

構造・階数：RC造 地上7階

敷地面積：6,927.40m²

延べ面積：6,099.08m²

総工事費：1,090,379千円



1) 県立宮古養護学校校舎増改築工事



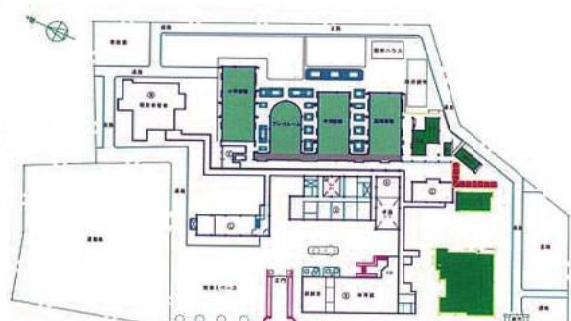
◆ 設計コンセプト

本施設は、敷地造成を行わず、校地の特性を生かし、平家建で校舎棟、管理棟、幼稚部棟、屋内運動場、屋外プール及び寄宿舎棟で構成され、これらの建物がピロティや渡り廊下で連結され、動線の明確化と機能性を重視した段差のない完全バリアフリー化を実現した養護学校である。

特殊教育から特別支援教育へ大きな改革が行われている中における、知的障害、肢体不自由、盲、聾の総合養護学校である。

◆ 動線の明確化

南北軸中央に主廊下を設け校舎棟と管理棟を連結、東西軸東面に校舎棟、西面（正面）に管理棟を配置し、施設中心部にふれあいホールと中庭を配して動線の明確化を図った。



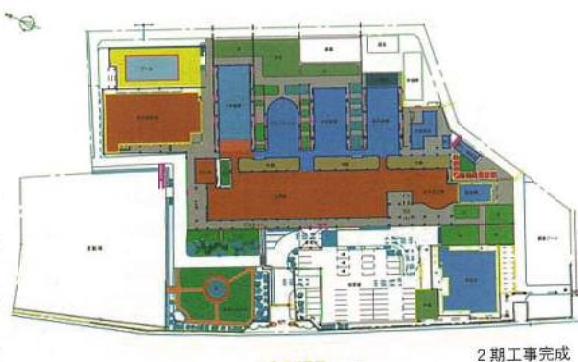
◆ コスト縮減

プレハブ仮設校舎を建てず、旧校舎をうまく使用しながら工事を進めるという大きなテーマがあり、工事を1期2期にゾーニングも校舎棟と管理棟に分離し廊下で結合する計画案を採用し実施設計を完了、コスト縮減を可能にした。

1期工事完成

工事スケジュール

1期解体工事	H17.12.28 ～H18.3.17
1期建築工事	H18.3.16 ～H18.7.31
2期解体工事	H18.9.5 ～H19.3.30
既設校舎解体	H18.9.5 ～H18.9.30
既設体育館解体	H19.3.1 ～H19.3.30
2期建築工事	H18.10.1 ～H19.4.27



◆ 正面ピロティー（回廊）

真夏の強烈な日ざしに影を創り西日を和らげ風雨から建物を守り、学校各施設への通路として、地域へ施設開放時のコミュニケーションの場として、又地域交流広場への誘いの空間として活用されます。
(見出し写真)



◆ ふれあいホール

登下校の集合の場として、展示広場として作品の発表等を通して児童生徒、父兄、地域住民との交流を図り情報の拠点の場として活用される。

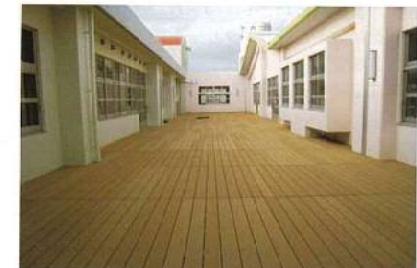


◆ 地域交流広場

地域住民、父兄、児童生徒との交流を図り、教師、生徒が心をこめて作った作物等の販売等、小イベントも可能な部活動の場として利用されます。

◆ 中庭（ウッドデッキ）

管理棟と校舎棟を結ぶ中廊下に沿って吹き抜け空間があり、光庭として、風の道としての外部空間、ときには内部的空間としても利用できる。



◆ 施設概要

所 在 地：宮古島市平良字狩俣
敷地面積：31,834
用途地域：都市計画区域内 無指定
構 造：鉄筋コンクリート造 1階建て
延床面積：7,718.7m²
建築面積：9,263.0m²



体育館



寄宿舎



プール



多目的室



調理実習室



図書室

2) 南風原高校屋内運動場及び武道場増改築工事

所在地：南風原町字津嘉山

工期：H17. 11. 3～H18. 6. 10

構造階数：鉄筋コンクリート造（一部、鉄骨造）

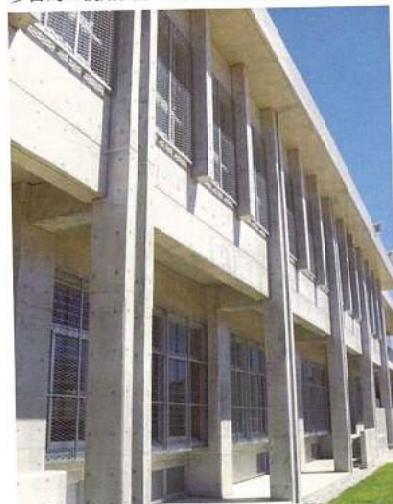
総工事費：466,975（千円）

延床面積：3,243.34m²



本施設は、既設校舎棟とグラウンドの中間に配置し、動線を明確化することにより利便性を向上。

敷地の高低差及び2階に武道場を配置することで下部にピロティを設置。雨天時のトレーニング等多目的に使用出来る付加価値空間を生む。



3) 北谷高校教室棟増改築工事

所在地：沖縄県北谷町字桑江414番地

工期：平成18年3月2日～平成19年1月31日

敷地面積：33,202m²

延べ面積：3,869m²

総工事費：629,757千円



北谷高校全面改築事業の第1期工事として本校舎の工事を実施した。

本校舎は普通教室、芸術部門である特別教室（書道、美術、陶芸）及び進路指導室等の各諸室を配置している。

日照・採光・通風・換気など良好な自然環境の確保を目的とした配置計画を行い、施設利用における静的部と動的部のゾーニングを意識した諸室の配置を行った。

また、建物内外における段差の解消、スロープの設置によるバリアフリーに配慮した施設整備を実施した。

第2期工事では管理棟の改築工事を実施するが、第1期工事で同じく完成した体育館も含め、各棟間を渡り廊下でつなぐなど、生徒の移動の利便性についても配慮した計画としている。



【玄関ホール】



【普通教室】

4) 北谷高校屋内運動場・武道場及び水泳プール増改築工事

所在地：沖縄県北谷町字桑江414番地
工期：平成18年3月2日～平成19年3月31日
敷地面積：33,202m²
延べ面積：2,850m²
総工事費：601,807千円



北谷高校全面改築事業の第1期工事として本校舎の工事を実施した。本校舎は狭小な同校の敷地において学校環境の改善を図るため、空地を確保する目的としてアリーナ、武道場、屋上プール施設の一的な整備を行った。
運動場に近い建物配置を行い、隣棟である普通教室棟とは2階と4階部分において渡り廊下で連結し、運動場に接する。運動場に接する。運動場に接する。
また、雨水利用対策の一環として、地下部分に貯留槽を設ける等、省エネルギーに配慮した施設整備を実施している。



【アリーナ】

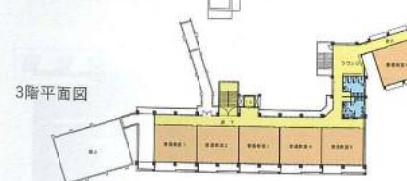
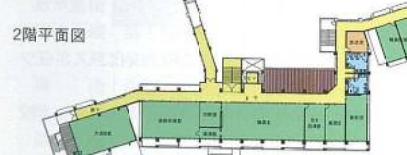
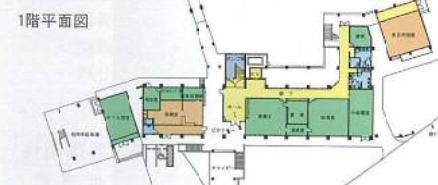
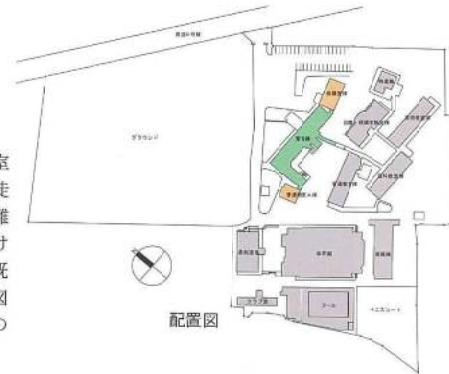


【武道場】

5) 石川高校校舎増改築工事

所在地：うるま市石川伊波861番地
工期：H18.3.1～H18.9.22
構造階数：鉄筋コンクリート造 地上4階
総工事費：548,150（千円）
延床面積：2,626.39m²

本計画の建物の主要用途として事務局、職員室等の職員スペースと普通教室、特別教室等の生徒スペースと、異なる用途のため双方の動線の分離を行い、シンプルで解りやすい平面計画を心がけた。また、バリアフリーに対応する計画とし、既設建物との動線的な利便性及び外観的な調和を図り、すべての利用者が親しみのもてる学校施設の整備を目指しました。



6) 嘉手納高校校舎新築工事

所在地：沖縄県嘉手納町字屋良806番地
工期：平成17年2月11日～平成18年11月29日
敷地面積：43,219m²
延べ面積：2,213.97m²（文部面積 1,880m²）
総工事費：299,860千円



同校における新たな教育カリキュラムとして、国際人文・福祉・保育・情報・芸術・文化、スポーツの5体系からなる総合学科の新設に伴い、本校舎の新築工事が行われた。

既設校舎との調和、連続性を考慮した意匠計画とし、既設棟からの生徒の移動の利便性を考慮し、校舎間に渡り廊下を配置し、建物内部においても明確な動線計画を行った。

また、段差の解消、スロープの設置、多目的トイレの配置等によるバリアフリーに配慮したものとなっている。

嘉手納基地に近いという周辺事情に鑑み、防音サッシによる騒音対策も行っている。



【芸術・文化系列実習室】



【第1 情報実習室】

7) 県立名護商工高等学校校舎増改築工事

・設計主旨

本施設は、「名護商業高校」「北部工業高校」が統合され、平成19年4月に開校予定の「名護商工高校」として、北部工業高校の敷地内に名護商業高校にある産振施設及び生徒数の増加に伴う普通教室の増築を行うための施設である。

平面計画は、普通教室と特別教室の間に、WCと主昇降路をはさみ分けて配置した。普通教室は、1～3階にかけ2教室ずつ計6教室とし、フロアごとに学年わけしてある。特別教室は、基本的に準備室を間にはさみ、関係する教科を左右対称に成るよう、同じフロアに配置した。

現北部工業高校敷地内への建設に当り、下記をコンセプトとして計画した。

- ・既存施設との調和
- ・動線の明確化及び利便性の向上
- ・南北開放による日照・風通しの確保
- ・イニシャルコスト及びランニングコストの低減
- ・明確な配置計画
- ・情報系授業のカリキュラムに対応した教室空間及び学習環境の向上
- ・空調設備の設置
- ・バリアフリー対応
- ・ライフサイクルの改善に努めた外装仕上

計画概要

所在地：名護市字名護4208番地
敷地面積：64,821.00m²
用途地域：第1種低層住居専用地域・第2種低層住居専用地域
工期：平成18年9月30日
構造：鉄筋コンクリート造
階数：地上3階
延床面積：2,622.55m²
総工事費：¥422,313

配置図



6. 警察本部



全景



ホール



光庭



準備室



総合実践室

八重山警察署新築工事

所 在 地：石垣市登野城889-3

工 期：H17.11～H18.11

敷地面積：6,511.68m²

延床面積：1,558.02m²

総工事費：931,158千円



旧八重山警察署の老朽化に伴い新築移転されたもので、計画にあたっては以下の点に留意した。

○地域環境と調和する施設計画

石垣市の風致環境と調和する赤瓦屋根の庁舎とし、勾配屋根を分節し、建物のボリューム感を抑えるように配慮した。また、在来種による構内綠化や、琉球石灰岩等の地場資材を活用し、地域の環境と調和する施設計画を目指した。

○環境にやさしい施設計画

深い庇や花ブロックスクリーンによる外部熱負荷低減、駐車帯の芝ブロック舗装による雨水の地下涵養、再生資材の積極活用など、環境にやさしい施設計画を行った。

○施設のバリアフリー

屋根付身障者用駐車場やスロープ、エレベーターの設置、1階ロビーに車椅子用カウンターや、多目的便所の設置など、バリアフリーに配慮した。



【1階ロビー】



【柔劍道場】